

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2010年1月号 通巻13号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2010

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

タヌキを正しく描けますか？

私たちはどこで間違ってしまったのか

ここにタヌキを描いてください

右のイラストをたいていの人は「タヌキ」と認識するだろうが、リアルなタヌキとは非常にかけ離れている。このイメージを持っていると、本物のタヌキを見てもタヌキとわからないだろう。正しいタヌキの姿は図鑑や東京タヌキ探検隊！のホームページやネット検索で確かめてほしい。



間違った
タヌキ

全世界のタヌキスキの皆様、明けておめでとうございます。この東京タヌキタイムズも創刊から1年たちました。どれだけの方がお読みになっているのかまったくわからないのですが、今年もよろしくお願ひします。

年明け抜き打ちテスト！

それでは、新年早々テストを行います！(笑) そのテストとは「タヌキの絵を描いてください」というものです。立派な絵画を描く必要はなく、鉛筆やボールペンでさらさらと描いて結構です。はい、スタート！

いざ描こうとしても、どう描いてよいか手が止まってしまった方が多いのではないかと思います。タヌキはどんな姿形でどんな模様があったか…。タヌキは誰もが知っている動物ですが、じっくりと観察したことがある人はとても少ないでしょう。そのため、本物のタヌキに出くわしても、それがタヌキなのか他の動物なのか判断できない、という例が少なからずあるようです。

上には、間違ったタヌキのイラストを掲載しました。こんな絵を描いたら落第ですのでご注意ください。このイラストは、後脚で直立しているという擬人化を除いても間違いだらけのタヌキです。タヌキの鼻は低くありません。耳は丸くありません。目のまわりの黒模様は左右つながついていません。4本の脚は黒色です。尾にしま模様はありません。このイラストはありとあらゆる点で間違っているのですが、それでも大多数の人はこれをタヌキだと認識するでしょう。

このような偽タヌキのイメージが頭の中に定着していると、動物園でリアルなタヌキを見た時にイメージの落差にとまどうはずです。「あれ？ タヌキってこんな動物だっけ？」、と。

間違ったイメージが世間に広まっていることは、東京タヌキ探検隊！の調査にも支障を及ぼしています。目撃された動物は本当にタヌキなのか？ ハクビシンやアライグマではないのか？ この問題は私をいつも悩ませています。

偽のイメージはいつから？

私たちはいつからこのような誤ったイメージを持つようになったのでしょうか。それぞれの間違いの要素は異なる時期に発生したと考えられるので、時代を特定するのは難しそうです。ただ、目のまわりの黒模様と尾のしま模様はアライグマとの混同と考えられます。すると、アライグマの知名度が一気に高くなったテレビ番組「あらいぐまラスカル」(1977年)の頃に起源があるのかもしれない。タヌキの図像の歴史的变化を調べてみると何か面白そうなことがわかってくるかもしれません。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>